

新入生の皆さんへ

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。入学試験の難関を突破され、本学に入学されましたことに謹んでお祝いを申し上げます。

さて、大学での学び方は高校生までも経験してきたものとは大きく異なります。それは、大学では講義を聞く授業だけでなく、ゼミなどにみられるように自分で研究を進めるという形の学習形態の授業が多いことです。そのため、授業の中でレポートの提出や研究の集大成である卒業論文などの作成が求められるのです。

従って、大学の図書館も学習図書館と研究図書館の両面の機能を備えています。これによって、予習や復習などの自習をする場から、書物や情報などの資料を使って調査をする場、さらに、多くの資料をもとに比較や分析をして結論を導き出すことのできる場所として、利用者の幅広い目的を満たせるようになっております。また、これは図書館内の設備や蔵書構成にも顕著にあらわれています。

本学図書館には、中央館や分館、分室などに7つの閲覧室があり、57万冊の図書と4千種の学術雑誌を収集すると共に、国内外の研究情報を提供できる各種のデータベースを導入しています。これらの情報源は用途と目的によって効果的に使われ、昨年度の年間総貸出は9万冊を越えました。また、学生1人あたりの年間貸出冊数は約17.3冊になっております。



さらに、本学図書館は発信型図書館として様々な情報を公開しています。その中でも、“あなたの「世界」を広げませんか——本学図書館の特徴ある図書館活動で”とよぶ一連のサービスは、学生時代を有意義に過ごしていただくとして進めている事業です。これには、①ホームページでの情報発信活動、②図書館報によるPR活動、③定期稀覯書展示会の開催、④「高校生が知っている世界の有名な書物展」の開催、⑤「中学生によるチャレンジ体験展示会」の開催、⑥ワンポイント展示会の開催、⑦主題別書誌データベースの作成、⑧学園祭協賛行事フォーラムの開催、⑨「館内アルバイトのペイド・インターンシップ執筆大作戦」などがあります。

これらの個々の図書館活動は、蔵書構成を基盤にしたもので、そのひとつひとつに有機的な繋がりがあります。また、これらは学内だけでなく学外にも発信されており、例えばホームページからでもデジタル化された稀覯書展示会や国内外の有名な書物をご覧いただくことができます。図書館ではこれらを利用していただくことで、あなたの「世界」は大きく広がり、皆様の目的である言語を通じた国際地域研究の発展へ繋がっていくものと考えています。

ここでは、本学図書館の発信体制の一端をご紹介しましたが、新入生の皆様には図書館の様々なサービスを使っていただき、快適な学生生活を送られることをお祈りします。 (桜迎門)